

決算特別委員会報告

9月定例会付託議案審査

9月定例会には一般会計、特別会計、企業会計の決算認定の議案が提出され一般会計、特別会計は継続審査となり、企業会計が審査された。

議第94号「平成24年度三原市水道事業会計決算の認定について」

本市の水道事業は、安全で安心して飲める水を、安定的に供給することを目標に、建設改良工事を推進するとともに効率的な運営に取り組んでいる。

しかし、節水機器の普及、少子高齢化や人口減少社会の到来による給水収益の減少傾向に歯止めがかからないことに加え、老朽施設の維持管理や改良更新の必要性が高まる中、より一層、公営企業として経営意識に徹

した効率的かつ合理的な経営が望まれるところである。

問 県内平均を下回る本市の有収率88・3%をどのように分析しているか。

答 有収率を向上させるためには、漏水への対策が最も有効である。そのような中で、今年度から、委託により実施している漏水調査の範囲を200kmから300kmに延長し、さらにこれまでの単年度契約を5年間の継続契約に移行し、継続的で、緊急時等にも柔軟な対応ができる体制とすることで、漏水調査の強化を図っており、県内平均の90%を目指したい。

問 営業収益の確保や経費削減に向けた具体策については、どのように考えているのか。

答 経営の改善に向けて、設備の統合や民間への業務委託の推進、また「三原のおいしい水」の啓発活動などの取り組み

を行っているものの、抜本的な改善には至っていない現状である。

問 今後も経営改善が見られないのであれば、人員の削減や全国にも例がある水道事業全体の民間委託なども視野に入れた厳しい対応が必要ではないか。

答 危機管理上の問題点が多いことから、全面的な民間委託は考えていない。遊休資産の処分など、さらなる取り組みも考えていくが、こうした対策を講じて、今後も厳しい経営状況が予測されることから、将来的には、料金の改定を視野に入れた対応策も考えていかなければならない。

こうした議論の中で、複数の委員から、厳しい経営状況の中で、水道事業が生き延びていくために何が必要なのかを真摯に検討いただきたいとの要望があった。

ようこそ三原市へ

1月以降に行政視察で本市へ来られた市議会

視察受入日	議会名	委員会名・会派名	視察項目
2月12日	岐阜県 関市議会	明政会（環境問題研究部会）	環境基本計画について
2月13日	大阪府 門真市議会	公明党	大和認定こども園について
5月14日	茨城県 取手市議会	創世クラブ・日本維新の会	三原市中心市街地空き店舗対策事業について
5月15日	神奈川県 海老名市議会	文教社会委員会	認知症対策について
5月16日	京都府 亀岡市議会	産業建設委員会	観光戦略プランについて
5月21日	山形県 天童市議会	経済建設委員会	三原市中心市街地新規出店支援事業について
7月3日	山形県 酒田市議会	経済委員会	観光振興について
8月9日	岡山県 瀬戸内市議会	議会広報特別委員会	議会広報のつくり方や編集全般について
8月21日	福岡県 飯塚市議会	伯楽会（はくらくかい）	「健康みはら21」について
10月23日	宮崎県 西都市議会	文教厚生委員会	遊具を利用した児童の体力づくりについて
10月24日	静岡県 湖西市議会	福祉教育委員会	子育て支援事業について
10月25日	静岡県 袋井市議会	民生文教委員会	学校給食共同調理場の運営について
10月30日	千葉県 市川市議会	建設経済委員会	道の駅「みはら神明の里」の運営について